

周防大島町立橘病院 公的医療機関等2025プラン (公立病院)

平成30年 10月 策定

【周防大島町立橋病院の基本情報】

医療機関名：周防大島町立橋病院

開設主体：周防大島町

所在地：山口県大島郡周防大島町大字西安下庄 3920 番地 17

許可病床数：36 床

（病床の種別）地域一般病棟入院料3

（病床機能別）慢性期

稼働病床数：同上

（病床の種別）

（病床機能別）

診療科目：内科・外科・整形外科・皮膚科・泌尿器科・眼科・耳鼻咽喉科・歯科

職員数：

- ・ 医師：3名
- ・ 看護職員：21名
- ・ 看護補助者：2名
- ・ 薬剤師：2名
- ・ リハビリスタッフ：2名
- ・ 管理栄養士：1名
- ・ 事務職員：3名

【1. 現状と課題】

① 構想区域の現状

○地勢等

本圏域は、柳井市、周防大島町、上関町、田布施町、平生町の1市4町から構成されており、9つの有人離島を有し、面積は、県全体の6.5%を占めている。地理的には県東南部に位置する瀬戸内海沿岸地域に位置し、豊かな自然及び温暖な気候に恵まれているが、郡部は過疎化が進み、離島や半島では交通アクセスに難がある。

○人口

人口は、平成22年（2010年）の86,623人が、平成37年（2025年）には70,455人（平成22年比-18.7%）、平成52年（2040年）には55,493人（同-35.9%）に減少すると予測される。一方、75歳以上人口は、平成22年（2010年）の17,673人が、平成37年（2025年）には19,534人（同+10.5%）に増加した後、平成52年（2040年）には15,914人（同-10.0%）に減少すると予測される。

○医療機関・病床の状況

本圏域には、9の病院と72の一般診療所、38の歯科診療所、44の薬局がある。また、平成27年（2015年）病床機能報告結果によると、急性期415床、回復期32床、慢性期1,566床となっており、高度急性期の病床がなく、慢性期の病床が極端に多い状況にある。本圏域には、高度急性期・急性期医療を担うDPC病院が1病院あるが、半島や島しょ部においては病院までの移動に60分以上を要する地域がある。

② 構想区域の課題

- ・ 郡部は過疎化が進み、離島や半島では交通アクセスに難がある。
- ・ 人口減少に伴い、地域の医療需要も減少傾向にある。
- ・ 慢性期病床が過剰である。

③ 自施設の現状

・理念

地域の皆さまの命と健康を守り、愛され、信頼できる病院を目指します。

・基本方針

医療の質の向上に努め、患者様・ご家族が満足できる医療を提供します。
患者様には、わかりやすい言葉で説明し、同意に基づいた公正で適正な医療を提供します。
医療を通じて、すぐれた人間性と専門知識を兼ね備えた人材の育成をはかります。
地域の皆さまの疾病予防・健康増進に努めます。

・届出入院基本料

地域一般病棟入院料3 36床

③ 自施設の課題

長期入院患者が増加傾向にあり、一般病棟において療養病棟入院基本料で算定する患者が一定数いる。医療依存度の低い患者については、在宅医療で対応し、当院としては回復期相当の患者受入れを強化していく必要がある。

【2. 今後の方針】 ※ 1. ①～④を踏まえた、具体的な方針について記載

① 地域において今後担うべき役割

・医療提供体制

急性増悪したかかりつけの患者、急性期病院からの術後患者に対応する。「慢性期」機能相当の患者については、医療依存度の高い患者を中心に受け入れ、医療依存度の低い患者については、在宅医と連携することで対応する。

・医療、介護提供体制の強化

橘地区の患者に対して、医療・介護のシームレスな提供を行うため、併設する介護老人保健施設さざなみ苑との機能分化及び連携を強化するとともに、同じ建物というメリットを活かして、組織図、指示命令システムをはじめとした運営面を一体化する。

② 今後持つべき病床機能

病棟の一部を回復期機能へ転換することを検討する。

③ その他見直すべき点

・材料費の適正化

各事業所が協力・連携し、また企業局が主体となって購買環境の改善を図る。

・包括請求制度への対応強化

包括請求への対応強化のため、医療資源投入量についての見直しを行う。

・委託契約などの契約内容の適正化及び経費の見直し

契約内容の見直しを行うことで、固定費の削減を図る。また経費項目については引き続き、見直しを図る。

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4 機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

現在、将来の病床数欄は、平成30年度病床機能報告予定数値を記入

| | 現在 (平成30年度病床機能報告) | | 将来 (2025年度) |
|-------------|----------------------|---|----------------|
| 高度急性期 | | → | |
| 急性期 | | | |
| 回復期 | | | 10 |
| 慢性期 | 36 | | 26 |
| 休棟等 | | | |
| (合計) | | | |
| 介護保険施設へ移行予定 | — | | |
| うち、介護医療院 | — | | |

<年次スケジュール>

| | 取組内容 | 到達目標 | (参考) 関連施策等 |
|-----------------|------------------------------------|-------------------------|---------------|
| 2017年度 (実績) | | | |
| 2018年度 | 病棟転換に向けた院内の調整 | | |
| 2019～2020 年度 | データ提出加算の届出 地域包括ケア入院医療管理 料の届出 | 病棟の一部病床を地域包括ケア 病床へ転換 | |
| 2021～2023 年度 | | | |

② 診療科の見直しについて

検討の上、見直さない場合には、記載は不要とする。

<今後の方針>

| | 現在 (本プラン策定時点) | | 将来 (2025年度) |
|-------|------------------|---|----------------|
| 維持 | | → | |
| 新設 | | → | |
| 廃止 | | → | |
| 変更・統合 | | → | |

③ その他の数値目標について

| |
|--|
| <p><u>医療提供に関する項目</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 病床稼働率：80% ・ 医師数：4名 <p><u>経営に関する項目*</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人件費率：80% ・ 委託費率：10% ・ 診療材料費率：9% ・ 薬品費率：21% |
|--|

* 地域医療介護総合確保基金を活用する可能性がある場合には、記載を必須とする。

【4. その他】
(自由記載)

| |
|--|
| |
|--|